

# 新たな議会構成 (平成26年12月1日現在)

◎は委員長、○は副委員長です。

## 総務常任委員会 7人



	○	◎					
水	山	小	大		岡	今	門
井	田	川	山	(前列右から)	崎	村	馬
清	雅	尚	弘		義	裕	和
光	彦	一	一		典		夫
							(後列右から)

## 議会運営委員会 8人



	○	◎					
渡	渡	鈴	小		中	田	山
部	部	木	川	(前列右から)	川	中	田
寛	一	昌	尚		庄	一	雅
一	夫	一	一		一	正	彦
							和
							(後列右から)

新たな議会構成

# 文教福祉常任委員会

委員長 奥村健郎

平成26年度南相馬市一般会計補正予算について

**質疑** 災害廃棄物処理対策事業における、解体家屋の対象と件数は。

**答弁** 今回は、旧警戒区域外で、3月10日に締め切り、2千37件である。

**質疑** 高齢者情報管理システム構築事業の活用として、情報共有の考えは。

**答弁** 情報提供は、本人同意が前提だが、避難困難者の把握など、民生委員等の活用につなげたい。

**質疑** 高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業の接種状況と、今後は定期接種の対象となるのか伺う。

**答弁** 10月からの接種の対象者を2千800人と見込んでおり、現時点で約560人が接種している。また、定期接種は、法令改正により10月1日から対象となった。

**質疑** 学校不適用対策事業について。現在、8名が

教室に通っているが、どのような取り組みをして一般の学級に復帰するのか。

**答弁** それぞれの子供たち合った計画を立て指導している。3年生は進路があるため、復帰に向けて学習指導を多めに入れ、毎年、ほとんどの生徒が自分の望む方向で進路を達成している。

**質疑** スポーツ大会等出場激励金だが、復興の機運を高めるため、もっと手厚い措置があってもよいのでは。

**答弁** スポーツ推進審議会の中で検討しており、スポーツ振興を復興の象徴とし、市民に共有できるように振興策を深めていく。

**質疑** 防災集団移転事業関連発掘調査事業だが、予想以上の出土品があったと聞くが、主な内容は。

**答弁** 小川町東町遺跡で、4千年前の縄文時代の土器が大量に出土。上洪佐

地区は、平安時代のものが出土。東町遺跡出土品は、文化庁主催の列島展に展示する予定。

**質疑** 鹿島体育館整備事業の工期と、増額分の交付金採択の協議状況は。

**答弁** 本事業は、福島再生加速化交付金対象事業であり、27年度中に完了させる。まだ採択されてないが、震災後も子供が安心して運動できる環境を作るために、十分な説明責任を果たし、財源確保に努める。審査の結果、原案通り可決。



防集移転が進む小川町東町遺跡地

**質疑** 該当の可能性など、対象者にわかりやすく、

周知・説明する必要があるのでは。

**答弁** 今回、支給基準が明確になったことから対象が特定された。今後、甲斐金支給データを確認し、個別に連絡する。周知方法は、検討する。

審査の結果、原案通り可決。

平成26年度南相馬市病院事業会計補正予算について

**質疑** 電子カルテ導入のメリットは。また、脳卒中センターの財源として、国・県の補助などを考えていたようだが見込みは。

**答弁** 会計時間は30分程度短縮される。また、診療情報を共有して、適切な医療を提供する。財源については、浜通り地方医療復興計画に位置づけられ、福島県地域医療復興事業補助金の対象となる。

審査の結果、原案通り可決。

公の施設に係る指定管理者の指定について

**質疑** 震災により小高老人福祉センターの利用者数は激減しているが、その点

は考慮したのか。

**答弁** 当然、想定している。主な経費は光熱水費などのウエイトが高く、利用者が少なくても影響がないと考える。

**質疑** 鹿島区第1・第2デイサービスセンターの評価において、「緊急時対応マニュアルの整備」が半分の得点だが、どう評価するのか。

**答弁** 選定時に、「以前の防災マニュアルを今回の大震災を踏まえ改定する」ことを確認している。今年度中に策定する予定である。

**質疑** 南相馬市屋内市民プールは、混雑しすぎているとの声がある。選定において、どう検討したのか。

**答弁** 健康体操・子供水泳教室・高齢者向け・成人向けの4事業を実施している。子供用・競技用・教室用に分け、子供から高齢者まで、健康増進や競技力向上に寄与できるよう、指定管理者を選定。

審査の結果、原案通り可決。

## 常任委員会審査